

# 記載例

## 岩沼市中心市街地空き店舗活用支援事業出店申込書 (法人事業所及び個人事業所)

申込年月日 令和 5年 8月 21日

(フリガナ) 申込者名	イワヌマ タロウ 岩沼太郎 (男・女) 平成 7年 8月 1日生 (満28歳) 事業所における役職名 代表
現住所	〒989-2432 岩沼市中央2丁目5-25-1 電話番号 ■■■ (◆◆◆◆) ◇◇◇◇
事業所名	岩沼太郎商店
事業所の所在地	〒●●●-●●●● ●●市●●町●●-●● 電話番号 ●●●● (□□) △△△△
創業年月	令和 元年 4月 (業歴 4年)
年商	前期 500.4万円 前々期 525.6万円
申込者の住居状況	① 本人持家、② 家族持家、③ 社宅・寮、④ アパート ⑤ 公営住宅、⑥ 賃貸マンション、⑦ 借家 ⑧ その他 ( )
添付書類 (各1通)	【法人事業所】 ① 商業登記簿謄本 ② 所得証明書 (法人及び代表者) ③ 資産証明書 (法人及び代表者) ④ 納税完納証明書 (法人税、消費税及び地方消費税) ⑤ 預貯金残高証明書 ⑥ 確定申告書及び決算報告書 (2期分) ⑦ 暴力団又は暴力団員等と関係していない旨の誓約書 【個人事業所】 ① 住民票 ② 所得証明書 ③ 資産証明書 ④ 納税完納証明書 (市県民税、申告所得税及復興特別所得税、消費税及地方消費税) ⑤ 預貯金残高証明書 ⑥ 確定申告書及び収支決算書 (2期分) ⑦ 暴力団又は暴力団員等と関係していない旨の誓約書

岩沼市中心市街地空き店舗活用支援事業出店申込書  
(給与所得者)

申込年月日 令和 5年 8月 21日

(フリガナ) 申込者名	イワヌマ ジロウ 岩 沼 次 郎 (男・女) 平成 7年 8月 1日生 (満28歳) 勤務先における役職名
現 住 所	〒989-2432 岩沼市中央2丁目5-25-1 電話番号 ■■■ (◆◆◆) ◇◇◇◇
勤 務 先	●●株式会社
勤 務 先 の 所 在 地	〒●●●-●●●● ●●市●●町●●-●● 電話番号 ●●●● (□□) △△△△
就 職 年 月	平成29年 4月 (勤務年数 6年)
給 与 ・ 賞 与 の 総 額	令和3年分 312.4 万円 令和4年分 316.6 万円
申 込 者 の 住 居 状 況	① 本人持家、② 家族持家、③ 社宅・寮、④ アパート ⑤ 公営住宅、⑥ 賃貸マンション、⑦ 借家 ⑧ その他 ( )
添 付 書 類 (各1通)	① 住民票 ② 所得証明書 ③ 資産証明書 ④ 納税完納証明書 ⑤ 預貯金残高証明書 ⑥ 源泉徴収票 ⑦ 暴力団又は暴力団員等と関係していない旨の誓約書

# 新規開業（出店）計画書

## 1. 事業内容

業種	飲食業（定食屋）	
出店の目的及び動機	<p>前職の飲食店で調理担当として学んだ経験を活かし定食屋を出店して地元岩沼を盛り上げていきたい。</p> <p>当店ならではのメニューを考案しながら、岩沼の住民や岩沼で働いている方が、気軽に足を運んでいただけるようなお店作りを行ってきたい。</p>	
具体的な取扱商品・サービス等	<p>焼き魚・刺身・焼肉定食、かつ丼など</p> <p>三陸産の魚介類を食材として活用</p>	
セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店で調理担当の経験を活かしたメニュー</li> <li>・三陸地域の新鮮な魚介類の提供</li> <li>・SNSによる店舗情報やメニュー等の情報発信</li> <li>・岩沼の野菜を活かしたヘルシーなメニュー</li> <li>・サラリーマンでも気軽に来店頂けるメニュー</li> </ul>	
商圈及び予想顧客層等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩沼市の住民</li> <li>・岩沼及び近隣地域で働いている方</li> </ul>	
改装工事着工予定日・完成予定日	<p>着工予定日 令和 5年10月 2日（月）</p> <p>完成予定日 令和 5年10月20日（金）</p>	
開業予定日	令和 5年11月 1日（水）	
営業時間及び定休日等	<p>営業時間 11：00～14：00、17：30～23：00</p> <p>定休日 毎週月曜日、第2・第4火曜日</p>	
予定の販売先	一般客	
予定の仕入先	●●●水産（●●市）、●●●ファーム（●●市）	
希望店舗	第1希望	岩沼市●●△丁目△一△△
	第2希望	岩沼市●●△丁目△一△△

## 2. 収支計画

### (1) 初年度（令和5年9月～令和6年3月）の収支見込

科 目			金 額	内 訳
売	上 高	①	290 万円	40 万円（10 月） 250 万円 @50 万×5（11～3 月）
売	上 原 価（仕 入 高）	②	108 万円	@18 万×6（10～3 月）
経	人 件 費	—	60 万円	1 名 @10 万×6（10～3 月）
	家 賃	—	56 万円	@8 万×7（9～3 月）
	広 告 宣 伝 費	—	30 万円	チラシ作成・配布等
	水 道 光 熱 費	—	51 万円	3 万円（10 月） 48 万円 @8 万×6（10～3 月）
	支 払 利 息	—	7 万円	@1 万×7（9～3 月）
	そ の 他	—	118 万円	租税公課 5 万円 通信費 14 万円 @2 万×7（9～3 月） 接待交際費 5 万円 消耗品等 60 万円 減価償却 20 万円 車両費 14 万円 @2 万×7（9～3 月）
合	計	③	322 万円	
営	業 利 益	①－②－③	-140 万円	

## (2) 次年度(令和6年4月~令和7年3月)の収支見込

科 目			金 額	内 訳
売 上 高		①	840 万円	@70 万×12
売上原価(仕入高)		②	240 万円	@20 万×12
経 費	人 件 費	—	120 万円	1 名 @10 万×12
	家 賃	—	96 万円	@8 万×12
	広 告 宣 伝 費	—	40 万円	チラシ作成・配布等
	水 道 光 熱 費	—	96 万円	@8 万×12
	支 払 利 息	—	12 万円	@1 万×12
	そ の 他	—	134 万円	租税公課 5 万円 通信費 24 万円 @2 万×12 接待交際費 5 万円 消耗品等 36 万円(3 万×12) 減価償却 40 万円 車両費 24 万円 @2 万×12
	合 計	③	498 万円	
営 業 利 益		①-②-③	102 万円	

### 3. 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額	調達の方法	金額
設備資金	店舗改装費、什器・備品費等 (内訳) 内装工事 230万 看板設置 20万	250万円	自己資金	万円
			日本政策金融公庫からの借入 (内訳・返済方法) 6万×60回払 (設備200万+運転160万)	200万円
			他の金融機関等からの借入 (内訳・返済方法)	万円
			空き店舗活用事業助成金 (1年目)	50万円
運転資金	商品仕入、経費 支払資金等 (内訳) 人件費 60万 家賃 56万 広告宣伝費 30万 水道光熱費 51万 支払利息 7万 租税公課 5万 通信費 14万 接待交際費 5万 消耗品等 60万 減価償却 20万 車両費 14万	322万円	自己資金	92万円
			日本政策金融公庫からの借入 (内訳・返済方法) 6万×60回払 (設備200万+運転160万)	160万円
			他の金融機関等からの借入 (内訳・返済方法)	万円
			空き店舗活用事業助成金 (1年目)	20万円
合 計		572万円	合 計	572万円

## 暴力団又は暴力団員等と関係していない旨の誓約書

私は、岩沼市中心市街地空き店舗活用支援事業の実施計画申請にあたり、下記1から5までのいずれにも該当しないことを誓約します。

また、岩沼市及び岩沼市商工会から暴力団排除に資する情報提供を求められた場合は、直ちに応じることを誓約します。

なお、この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反した場合は、受領した助成金の全額返還に応じると共に、当方が不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

### 記

1. 暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という）第2条第2号に規定する暴力団であるもの
2. 役員等（個人である場合はその者を、法人である場合にはその役員をいう。以下同じ）が法第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団員等」という）であると認められるもの
3. 暴力団又は暴力団員等が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有するもの
4. 暴力団又は暴力団員等に対して、利益供与をしている事業者又は事業の委託、請負などの契約関係にあるもの
5. 役員等が暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有すると認められるもの

以上

岩沼市中心市街地空き店舗活用推進委員会

委員長 大友 浩 幸 様

法人事業所の場合、商業登記簿謄本等記載の住所  
個人事業所・給与所得者の場合、自宅住所を記入

令和 5年 8月 21日

誓約書は、自署でご記入願います。

住所 岩沼市中央2丁目5-25-1

法人事業所及び個人事業所の場合、記入

商号又は名称 岩沼太郎商店

代表者役職・氏名 代表 岩沼太郎